



第5回病態診断医学セミナー・次世代北信がんプロFD講演会

B細胞リンパ腫の 分子病態と標的治療への応用

2024年11月28日(木) 17:00～

金沢医科大学医学教育棟3階 病理診断室

※オンライン併用開催

参加申込QRコード



高田 尚良 先生

TAKATA Katsuyoshi

富山大学 学術研究部医学系
病態・病理学 教授

2004年 岡山大学 医学部医学科 卒業
2010-2016年 岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 病理学
(腫瘍病理) 助教、講師
2016-2020年 British Columbia Cancer Research, Postdoctoral Fellow
2020-2024年 新潟大学大学院医歯学総合研究科
分子細胞病理学分野 助教、研究准教授、
医学部准教授
2024年11月- 富山大学学術研究部医学系病態・病理学講座
教授(現職)

B細胞リンパ腫は全リンパ腫の約8割を占める最も頻度の高いリンパ腫亜型であり、細胞起源、生物学的態度、予後に基づいた細分類がなされている。病理診断に際しては形態、免疫組織化学による表現型の確定、さらに分子標的薬の適応の観点からそれぞれの亜型に特徴的な遺伝子異常を検出することが必要とされている。本講演ではWHO分類第5版に基づいたB細胞リンパ腫分類の特徴と、遺伝子異常、および遺伝子異常に基づいた標的治療への応用について述べる。

※次世代北信がんプロ科目単位申請対象のセミナーです。

担当 金沢医科大学臨床病理学 山田 壮亮 教授

問合せ 金沢医科大学 学事部大学院課

d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp

